

2024年11月12日

各 位

会社名 株式会社岩手銀行
代表者名 取締役頭取 岩山 徹
コード番号 8345 東証プライム

会社名 株式会社大和証券グループ本社
代表者名 代表執行役社長 荻野 明彦
コード番号 8601 東証プライム・名証プレミア

岩手銀行と大和証券の新たな協業体制構築に向けた 包括的業務提携に関する基本合意書締結のお知らせ

株式会社岩手銀行（取締役頭取 岩山徹、以下「岩手銀行」）と株式会社大和証券グループ本社（代表執行役社長 荻野明彦、以下「大和証券グループ本社」）の100%子会社である大和証券株式会社（代表取締役社長 荻野明彦、以下「大和証券」）は、岩手県を中心としたエリアのお客さまに対してより高付加価値な金融サービス・ソリューションを提供するための新たな協業体制構築に向けた検討を進めるため、本日、包括的業務提携（以下「本提携」）に関する基本合意書（以下「本基本合意書」）を締結することについて、両社それぞれの取締役会にて決議いたしましたので、お知らせいたします。

今後、両社は2025年3月末までの最終契約の締結を目指し、本提携にかかる協議・検討を進めていく予定です。以下の内容は本基本合意書の締結時点で予定しているものであり、本提携の最終契約に向けた両社の協議・検討の結果、内容を変更する可能性があります。本提携にかかる最終契約を締結した場合には、その内容について速やかにお知らせいたします。

1. 本提携の背景・目的

岩手銀行は、2023年4月より「お客さまの課題解決と地域社会の持続的成長を牽引する価値共創カンパニー」を長期ビジョンに掲げ、実現に向けた各種施策を実施してまいりました。リテール分野においては、預り資産クラスター一体営業体制に移行し、より

高度なコンサルティングができる体制を構築したほか、資産形成層の取り込みと人的リソースの最適化のため非対面サービスの強化を進め、お客さまに質の高いサービスを提供するべく取り組んでまいりました。

大和証券は、今年度からスタートした中期経営計画「“Passion for the Best” 2026」において、グループ経営基本方針として「お客様の資産価値最大化」を掲げ、的確な市場環境分析と深度あるお客さま理解に基づいた質の高いコンサルティングやソリューションを提供することで、中長期的なお客さまの資産価値向上を目指しております。

人生 100 年時代を迎え、資産形成の重要性が高まる中、資産所得倍増プランが策定され、NISA 制度の拡充などにより国民の資産運用に対する意識も高まっています。岩手県は全国平均と比較して 1 世帯当たりの預貯金残高に対する有価証券残高の比率が低く¹（全国平均 25.1%、岩手県 8.7%）、地域のお客さまの「豊かで活力があり、サステナブルな」生活のためにも、金融リテラシーを高めつつ、資産運用により資産所得を拡大させることは非常に重要だと考えています。また、高齢化についても、岩手県は 65 歳以上の人口比率²が 35.0%（全国平均 29.1%）と進んでおり、資産管理や子供世代への円滑な資産移転に関するアドバイスが強く求められています。

本提携の実施により、岩手銀行と大和証券の両社は、大和証券の証券ビジネスにおける知見・経験・プラットフォームと、岩手銀行の地域に密着したサポート体制を組み合わせることで、岩手銀行のお客さまにはより幅広い商品・サービスラインアップを提供し、大和証券のお客さまにはよりきめ細やかなコンサルティング機会を提供するための体制を構築していくことを企図しております。また、両社は、金融商品仲介のみならず、相続・事業承継などのソリューション提案の強化や非金融資産にかかる提案等を含めた高度なコンサルティング体制の実現を目指すとともに、地域の金融リテラシーの向上と底上げを目指します。

今後、両社は、それぞれの強みを生かした相乗効果により、地域のお客さまのご期待に高い次元で応えられる新たな協業体制を構築し、資産形成・資産管理サービスをより身近なものとしてご提供していくことで、お客さまの豊かな生活の実現、ひいては地域経済の発展に貢献してまいります。

2. 本提携の内容

本基本合意書締結日時点で予定している本提携の内容は以下のとおりです。

(1) お客さまの証券口座の統合

- ・ 岩手銀行の公共債、投資信託の窓販業務にかかる口座を大和証券が承継しま

¹ 総務省「2019 年全国家計構造調査」より

² 内閣府「令和 6 年版高齢社会白書」より

す。承継の方法は吸収分割の方法によることを予定しています。詳細は決定次第、開示いたします。

- ・ 大和証券は、上記口座に加えて、岩手銀行と大和証券の間で既に締結している金融商品仲介契約にかかる口座および大和証券盛岡支店の口座（上場法人・金融法人等の一部の口座を除く）を統合して管理します。

(2) 大和証券から岩手銀行への金融商品仲介業務等の委託

- ・ 大和証券は、上記「(1) お客さまの証券口座の統合」に記載の統合後の口座について、株式、債券、投資信託、為替取引等の金融商品仲介業務およびファンドラップ等の投資一任契約締結の媒介に関する業務等を岩手銀行に委託します。
- ・ 岩手銀行は、同行内に金融商品仲介等を行うための新たな組織を設置するとともに、当該新組織と岩手銀行の既存組織とを緊密に連携させ、かつ、上記の大和証券からの委託業務を効果的に遂行するための体制を整備し、お客さまへの資産形成・資産管理に関するご提案、金融商品等の勧誘・販売、アフターフォロー、内部管理等を行います。

(3) 社員の出向等

- ・ 大和証券は、岩手銀行に社員を出向等させ、当該社員は、岩手銀行の行員とともに上記「(2) 大和証券から岩手銀行への金融商品仲介業務等の委託」に記載の委託業務に関連する業務に従事します。

3. 両社の概要

(1) 岩手銀行の概要（2024年3月31日時点）

名称	株式会社岩手銀行	
所在地	盛岡市中央通一丁目2番3号	
代表者の役職・氏名	取締役頭取 岩山 徹	
事業内容	銀行業	
資本金	120億89百万円	
設立年月日	1932年5月2日	
大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8.10%
	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5.11%
	QRファンド投資事業有限責任組合	4.00%
	岩手県企業局	3.52%
	岩手県	3.31%
	岩手銀行行員持株会	3.19%

	CEPLUX- THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2 (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ 東京支店)	2.71%	
	株式会社十文字チキンカンパニー	2.59%	
	明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	1.94%	
	住友生命保険相互会社 (常任代理人 株式 会社日本カストディ銀行)	1.72%	
最近3年間の連結経営成績および連結財政状態			
決算期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
連結純資産	193,564百万円	185,228百万円	199,436百万円
連結総資産	3,920,260百万円	3,820,134百万円	3,929,595百万円
1株当たり連結純資産	11,166.79円	10,664.54円	11,673.60円
連結経常収益	44,279百万円	47,591百万円	43,886百万円
連結経常利益	7,768百万円	6,457百万円	6,955百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,126百万円	5,381百万円	4,225百万円
1株当たり連結当期純利益	235.91円	310.35円	245.96円
1株当たり配当金	80円	90円	80円

(2) 大和証券の概要 (2024年3月31日時点)

名称	大和証券株式会社		
所在地	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号		
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 荻野 明彦		
事業内容	有価証券等の売買、有価証券等の売買の媒介、取次または代理、 有価証券の引受等の金融商品取引業およびそれに付帯する事業		
資本金	1,000億円		
開業年月日	1999年4月26日		
大株主および持株比率	株式会社大和証券グループ本社	100.0%	
最近3年間の経営成績および財政状態			
決算期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
純資産	510,743百万円	517,704百万円	567,943百万円
総資産	14,645,276百万円	11,909,708百万円	15,139,033百万円
1株当たり純資産	630,391.48円	638,983.01円	700,991.56円

営業収益	326,039 百万円	277,542 百万円	407,337 百万円
経常利益	78,234 百万円	5,959 百万円	86,369 百万円
当期純利益	57,401 百万円	7,151 百万円	57,186 百万円
1 株当たり当期純利益	70,848.22 円	8,826.97 円	70,583.52 円
1 株当たり配当金	421,370 円	0 円	8,826 円

(3) 両社の関係

- ・ 岩手銀行と大和証券の間の人的関係・取引関係について、大和証券による従業員の出向や、岩手銀行において大和証券が提供する金融商品の販売等を行っております。
- ・ 岩手銀行と大和証券の間の資本関係について、該当事項はありません。なお、大和証券は証券業務に係る一時保有等を目的に岩手銀行の株式を保有しております。
- ・ 岩手銀行と大和証券の間の関連当事者への該当状況について、該当事項はありません。

4. 本提携のスケジュール

- | | |
|---------------------------|------------------|
| (1) 本基本合意書締結に係る取締役会決議（両社） | 2024 年 11 月 12 日 |
| (2) 本提携の最終契約の締結 | 2025 年 3 月末まで |
| (3) 本提携による新体制の開始 | 2026 年中 |

5. 今後の見通し

現時点で、本提携が岩手銀行および大和証券グループ本社の連結業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、重要な影響を与えることが判明した場合には速やかに開示します。

以 上